

NSC だより

☆NSC活動、節目の5年目を終わりました！

新型コロナウイルス感染症が猛威を振るった一年でした。

そんな中「区民が安全・安心に暮らせる中原区」を願って、NSCの各対策委員会は出来る範囲の活動を重ねて参りました。

《災害等緊急時対策対策委員会》

○成果

◇課題

- 地震対策として「感震ブレーカー」を区民に斡旋（補助金の活用）
- 防災備品の点検・補充
- ◇緊急時の体制づくりの構築を、区と協議して再度見直す
- ◇有事に備え、区と連携して防災倉庫等に保管されている機器（発電機等）の稼動チェックを行う



救急医療セット点検確認

《交通安全対策委員会》

- 交通安全のぼり旗の設置
- 児童の登下校の安全見守りに向けての準備
- ◇区内の危険箇所の点検を行い、区への提言や必要な対応
- ◇中部小見守り隊と中原見守り隊（新規発足予定）をつなぐ



のぼり旗設置準備

《暮らしの安全対策委員会》

- 救急医療情報キット（命のカプセル）の普及推進
- ふれあいなかはら（ふれあいサロン）・いきいきなかはら（百歳体操）の支援
- ◇「困りごとアンケート」への対応や支援サポート活動（ゴミ出し・草刈り等）の体制の再構築
- ◇ふれあい・交流活動の支援充実



ふれあい中原（ふれあいサロン）

☆節目の5年を終え、今後のNSCのあり方を展望する

○コロナ禍でも活動がなされ5年の積み上げを感じます。NSCの安全・安心のための活動が中原区に必要不可欠なものになってきているように思います。活動の反省もしながら、大変でしょうが活動の継続をお願いします。協力していきます。

◇セーフコミュニティ役員の皆様、日々の活動ご苦労様です。発足5年目と言うことですので、今後の進む方向を今のままで良いのか、検討してみたらどうでしょう。役員が替わっていきますので、継続を望みますが継続できるか心配です。現役世代が増え負担が多くなるのでは？

これは、11月に実施した区民の皆さん（50戸余）からお寄せいただいた声の一部です。多岐にわたるお声をいただいた訳ですが、全体的に、多くの方々がNSCの活動の継続を望まれていることを、うかがい知ることができました。ただ、活動の継続のために、その見直しを提起されている声も幾多ありました。

事務局会でも、5年の節目を経て、これまでの取り組みの総括と今後の課題に向き合うことの必要性を考え、次年度にNSCのあり方を検討していくことを確認しました。見直しの観点としては、次のような点を考えています。

- (1) 各対策委員会の事業内容の是非・改善の方向
- (2) 事務局及び3つの対策委員会からなる組織の是非・改善の方向
- (3) 構成メンバーの是非・改善の方向
- (4) NSCの1年間の運営サイクルの是非・改善の方向
- (5) その他

区民の皆様の一年間のご協力に感謝申し上げます



